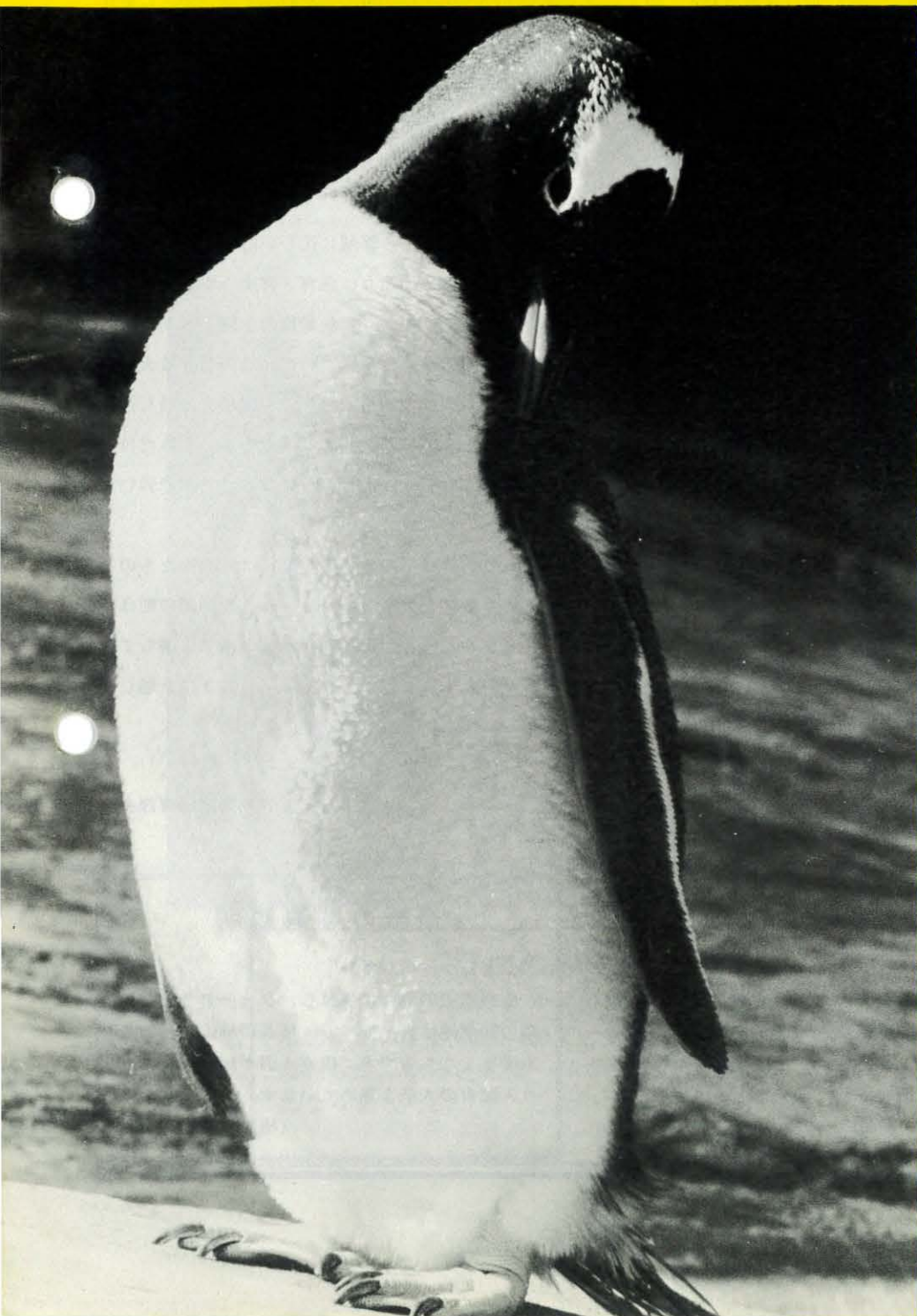


天王寺動物園

なきごえ



1980

3

大 阪 市
天王寺動物園協会

動物と私

土井良彦

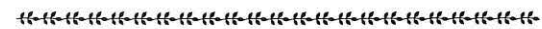


朝、園内を一巡する。ライオンが地響きのするような大声でほえる。続いて狼たちがいっせいになきさわぐ、遠くから突然ワライカワセミの痛快なき声聞こえてくる。

春の日ざしをうけた動物たちの姿は実に美しい。当園が誇る水きん放養舎では、早くも鳥たちが愛の語りを始めようとしている。

動物園の春はどこよりも早くやってくる。忙しくもあり、楽しみでもある。

学生時代、夏休みを返上して、学校に通い、モルモットやウサギの世話をしたことが、ごく最近のように思われる。始め、なんとなしにお手伝いをしたのがきっかけとなって、そのうちにまかされるようになった。実験動物の少なかった当時、2世の誕生に教室の皆から喜びをうけたことを思い出す。また種畜場に単身寝泊りし、人里離れた山野の夕空を仰ぎながら、種牡牛を運動させる手綱に、伝わる秘められた力の偉大さに驚き、事をなすとげた充足感自分だけが知るよろこびである。どんなささいなことでもよい、動物とのふれあいは、そこに仲間があり、世事のわずらわしさを忘れさせてくれるすばらしいものだと思う。



なきごえ3月号もくじ

動物と私	2
“ラマの赤ちゃん誕生”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
北米の動物園を駆けめぐって	6・7・8・9
キーパーズ・アイ ⑬	10
動物園ニュース	11



現在、天王寺動物園には、約 350種、1200点余りの動物を展示しているが、これらの動物たちは、60有余年の長い歴史のなかから得られた、貴重な体験と創意工夫によってつちかわれた、大阪市の立派な財産である。よく入園者のかたがたから「この動物は眠っていて動かない」とか「あの動物は水中にもぐって地上に上ってこない」とか、動きに変化のないことを指摘されることがあるが、世界の野生動物を一堂に集めた動物たちは、夜間に活動するもの、主として水中生活するものなど、その生態は多種多様であるので、あせらずに、じっくりとつぶさに観察してほしい。

動物園はこれから繁殖に忙しい時期を迎える。交尾し、妊娠し、出産し、保育・育すうすることは、自然の営みであるが、野生動物の生態・行動に未だ未開の分野の多い今日において、このことは大へんむつかしい事柄の一つで、私たち関係者の最も苦勞をし、努力を重ねているところである。それだけに無事子供が育ったときのよろこびは、言葉で云い表わせるものではない。

動物園の春は早い、この時期には、動物たちのさまざまな姿態が観察できる。また、動物園の朝は早い、寢室から飛び出た動物たちは、活気に満ちている。ぜひご家族お揃いで、朝の早いときにお越し下さい。お待ちしております。

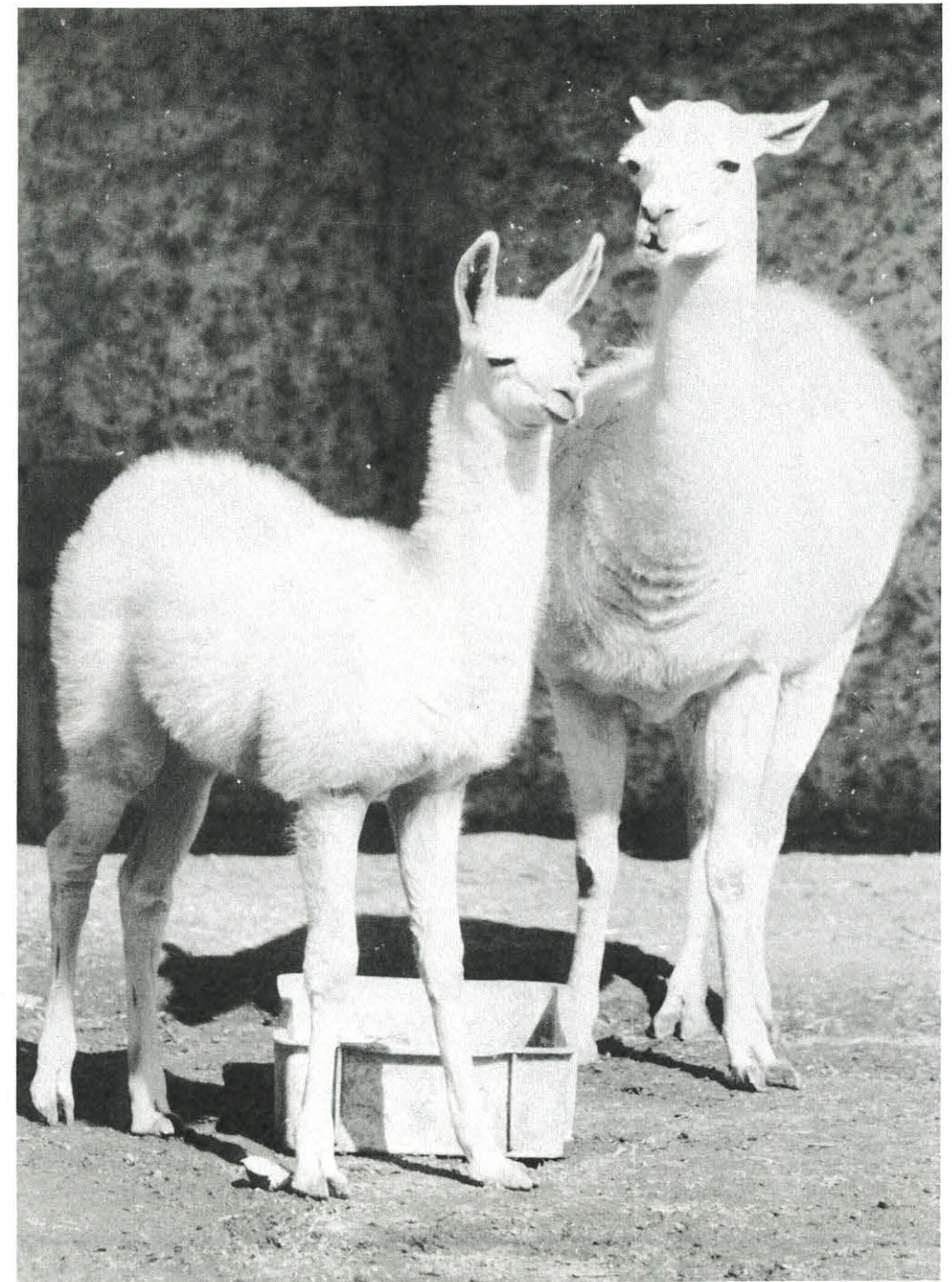
(天王寺動物園飼育課長)

表紙の写真説明

“ジェンツーペンギン”

南極周辺の島々に生息し、フォークランド諸島の繁殖地は有名です。体長75cm位で、とても愛きょうものです。現在4羽が飼育されており入園者の人気を集めています。

(撮影：農本武志)



“ラマの赤ちゃん誕生”

1月31日正午ごろ、ラマの赤ちゃんが生まれました。赤ん坊はオスで、母親に似て、真白な毛に包まれています。母乳も良く飲み、元気一杯です。これでラマの一家は5頭になりました。

(撮影：葎谷 文彦)

動物園グラフ

“日本に生息する動物たち”

今月は、日本に生息する動物のうち当園で収容している主なものを特集してみました。

(撮影：前木 妙子)



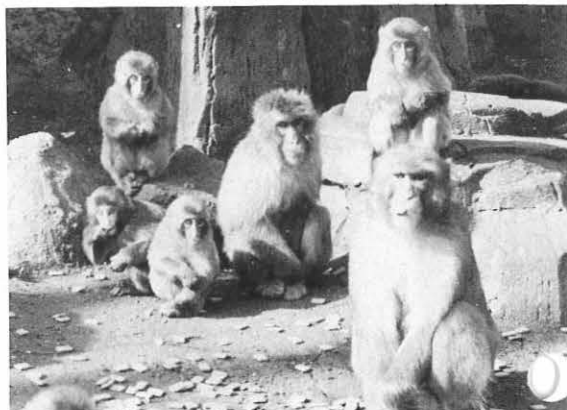
タヌキ：シベリア、中国、日本に分布しています。捕獲されると仮死をよそおうところから、タヌキ寝入りということばが生まれました。



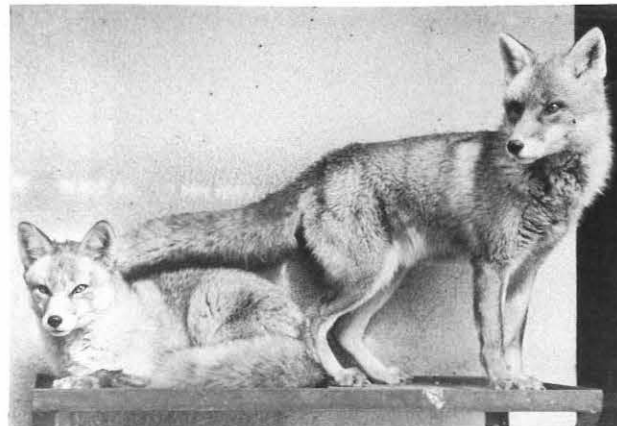
アナグマ：日本では本州・四国・九州の森林地帯に分布しています。暖かい地方のものは冬でも活動します。



タンチョウ：北海道釧路、根室地方で繁殖し、生息数は約 200羽といわれています。当園では4年連続繁殖に成功し、現在9羽にまで増えています。



ニホンザル：下北半島から屋久島に至るまでの本州、四国、九州に分布しています。下北半島のものは北限のサルとして、あまりにも有名です。



ホンドギツネ：日本では、本州、四国、九州に分布し、北海道産のキタギツネよりは、ひとまわり小さい大きさです。



ヒグマ：ヨーロッパ、アジア、北米と広く分布しており、日本では北海道だけにいます。北米のグリズリーや、モスクワオリンピックのマスコット、ミーシャもヒグマの亜種になります。



キタギツネ：サハリンから北海道にかけて分布しています。「キタギツネ物語」の映画以来、当園でも人気を集めています。



ニホンジカ：北海道から、本州、四国、九州、屋久島にまで分布しています。ただし、北海道のエゾシカをニホンジカに分類しない学者もあります。角は毎年はえかわり、夏毛の間だけ白斑が見られます。

1・2月の動物園日記

- 1 / 25. アグーチが左肩甲部を負傷したので入院させて治療しました。
新しくできた一時収容舎に、リスザル、ふ卵機、育雛機を移動しました。
27. ゴリラのゴロが風邪気味なので投薬をしました。
ワートホッグのメスが心衰弱で死亡しました。飼育期間は11年でした。
28. イワトビペンギンが産卵しました。
29. オオサイチョウが1番入園しました。

30. オオアrikuiが擦過傷を負ったので、治療をしました。
クロサイが交尾しました。
31. ラマがオスの赤ちゃんを出産しました。
モウコガゼルのお姉さんの右後肢の創傷を治療しました。
- 2 / 3. ヒョウに駆虫薬を飲ませました。
4. 関節炎を患っていたハイイロカンガルーが急に倒れたので、点滴を始めました。
8. キングペンギン3羽が入園しました。
9. ヤギの赤ちゃんが4頭、生まれました。
10. キョンがメスの赤ちゃんを出産しました。

- 母仔ともに順調です。
昨年生まれのタンチョウの下嘴が折れたので縫合し、さし餌を始めました。
キリンの母親が、食欲不振、元気消失のため、注射、投薬をしました。
15. イエローラットスネーク、ゴッファースネーク、カリフォルニアキングスネークが入園しました。
若トラ3頭の駆虫をしました。
16. アカカンガルー2頭が放線菌症にかかったため、抗生物質投与を行なっています。
17. コンドルが交尾しました。

- タンチョウの下嘴がはずれたので、再固定を行ないました。
18. キリンの母親は、食欲が出てきて、状態が良くなってきたので、今日から運動場に出してやることにしました。
20. オグロワラビーの右上顎が腫脹しているため、排膿、治療を行ないました。
21. カモシカ園のハナシカが11頭出園しました。
22. 昨日にひき続き、ハナシカが4頭出園しました。

北米の動物園をかけめぐって

⑤ シカゴ



60kgもあるジャイアントアルマジロ

§ リンカーンパークへ

8月17日、ギャングの故郷、シカゴ着。例によってレンタカーですぐ動物園へ。シカゴにはリンカーンパーク動物園とブルックフィールド動物園の2つの動物園があります。まずシカゴ市立のリンカーンパーク動物園を訪れることにしました。

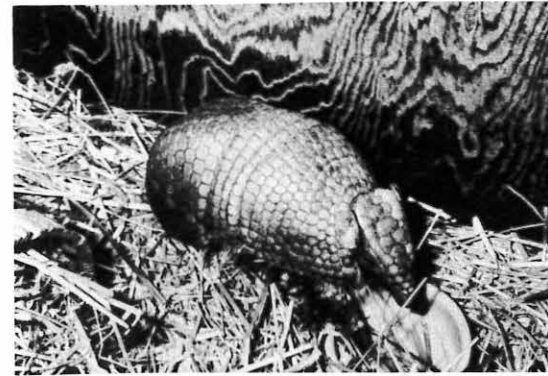
この日は上陸以来10日目にして初めての昼間からの雨。ここまで来て写真が撮れなくなるのではとハラハラしたのですが、動物園に着くや否や雨はピタリと上がりました。日頃やはり良い行いはしておくものです。

この動物園は入園無料。1874年、2羽のハクチョウから出発し、現在は600種、2000点の動物が飼われている大動物園になりました。

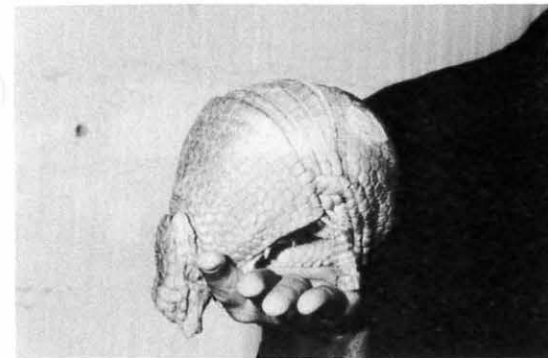
まず大型ネコ舎へ。ヨーロッパの競馬場の厩舎を思わせるとも大きなレンガ造りの建物の中は真中に広い廊下があり、両側にいくつものオリが長屋式に並んでいます。この中にユキヒョウ、インドライ

オン、ジャガー、といった大型のネコ類が展示されていました。しかし、折柄の天気で室内は薄暗く、とても暗いイメージで、1800年代のヨーロッパの動物見世物、メナージュリーを思い出させます。

その一角にあった売店で日本の動物園から来た旨を告げますと動物園の事務所を直に教えてくれました。事務所は円筒形で2階建のシャレた建物で大きな窓を多用してあるせいかとても明るく働き易そうなオフィスです。この建物は教育センターも兼ねていて、地下には200人を収容するレクチュアルームがありました。しかしこの建物、1階と地下はすでに完成して実際に機能しているのですが、2階はまだ未完成。ギフトショップとニホンザルやバーバリーエイブなどを収容するサル舎を設置することになっているのだそうです。この事務所が代表するようにリンカーンパーク動物園は1980年を最終とする動物園改造計画の真最中なのです。ですから1800年代のメナージュリーを想起させる大型ネコ舎といかに



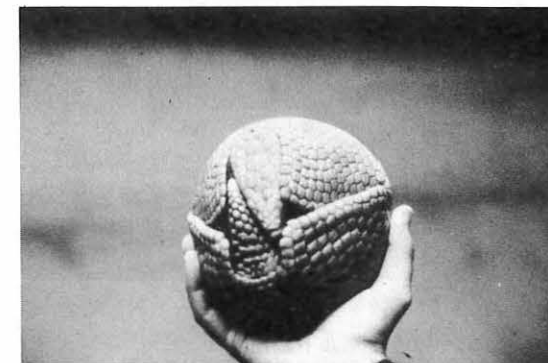
奇妙な防衛法をするミツオビアルマジロ



驚ろかすと丸くなります



ドンドン丸くなって…。



ソフトボールになりました。

も近代的なオフィスが混在しているという訳です。類人猿舎はすでに完成していて、アンテロープ舎がまだ建設中でした。

まず哺乳類課の課長、マーク・ロウズンター博士にお会いしました。課長といってもまだ35才位のとても若い人です。しかし、これは年功より実力重視のアメリカではたいして珍しくありません。博士も以前から国際動物園年鑑などによく論文を発表しておられたとても仕事熱心な人です。改造計画について話を伺い園内へ。

§ 素晴らしい類人猿舎

博士はまずサル舎へ案内してくれました。5年前、天王寺とリンカーンパークとの間で動物交換が行われ、カナダヤマアラシ一番をいただき、当園からはニホンザル一番を贈った事を覚えておられる読者もいると思いますが、この事を博士が思い出してくれたからです。残念な事にオスは既に死亡していましたが、メスは健在で、他の園から後に入れたオスとの間に丁度1ヶ月前、初めての仔を出産していました。シカゴ生れの2世は、大阪生れのお母さんにとっても良く似た大変可愛い赤ん坊でした。

このサル舎には他にゴリラやエリマキキツネザル、シシオザルなどが飼われていましたが、1920年完成とかでここも大型ネコ舎同様、メナージュリー的な暗い動物舎でした。

こんな動物舎を見た後で見たからでもないでしょうが、3年前に完成した類人猿舎は本当に素晴らしい動物舎でした。世界中の都市動物園共通の悩みである土地の狭さをカバーする為、ビルの中でゴリラ、チンパンジー、オランウータンの3種が飼われています。そしてこのビルは横ではなく縦に広がっています。つまり床から天井までが9mもある巨大な収容舎なのです。その上、縁に包まれた園内の景観を崩さないように、この建物はすっぽりと地下に埋められています。9mの高さをフルに利用できるように張り巡らされたロープの長さは総計3kmにもなるとか、チンプにオラン、それに大きなゴリラまでこのロープを使って上から下へ、下から上へと活発に舎内を飛び廻っていました。限られた空間の中でい

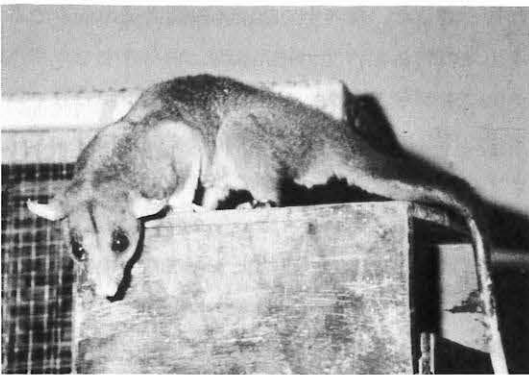
かに動物達を生々と生活させるか、考えに考えた上で完成した動物舎なのでしょう。総工費は10億円だったそうです。

この担当キーパーは女性でした。完全な間接飼育でやっているので体力負けとかいった問題も無いのでしょうか。掃除は外から消防用のような直径5cm位のホースから出るすごい水圧の水で洗い流す方式でした。

客とはオリを用いず3枚重ねにした1.5インチの強化ガラスで別けられています。これは人と共通の病気に罹る類人猿を飼育する際、人から類人猿へあるいは逆に類人猿から人への病気の感染を防ぐ為大事なことです。しかし、このガラスによる隔離には感染の防止という利点に対して音までも遮断されてしまうという難点があります。ここでは、この難点を取り除く為、中の類人猿達の声をマイクで外へ流していました。マイクから流れ出るゴリラやチンブの生々しい叫び声はまるで「こんなビルの中でも俺達は元気に暮しているんだぞ!!」という彼等の宣言のように私には聞えました。

§ 市民の為の動物園

このあとロウズンター博士は非公開の動物舎へ連れて行って下さり、全米でもここ1頭という世界最大のアルマジロ、ジャイアントアルマジロを見せてくれました。60kgもあるこのアルマジロは5kg程のムオビアルマジロ位しか知らない私にとって大きな驚きでした。奇妙な防御法をするミツオビアルマジ

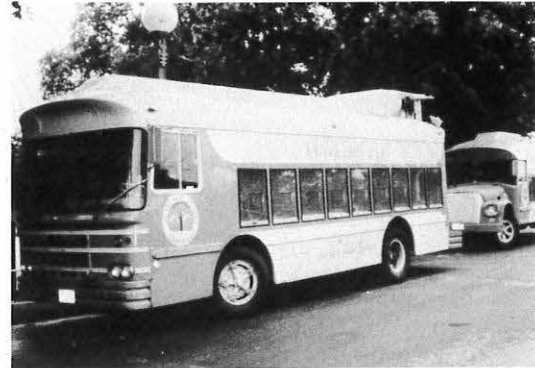


クリクリ目玉のウーリーオポッサム

ロ、クリクリした眼のウーリーオポッサム、珍獣マレイヤマネコにエムペラータマリンなどなど、この

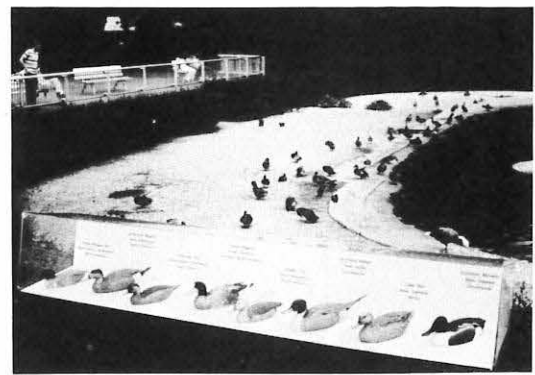
非公開の動物舎にはワクワクするような動物達が沢山飼われていました。

獣医さんは不在でしたが、最新設備を誇る動物病院を見せていただいた後、最後に人工哺育室へ。ここは人工哺育している所を一般のお客さんも見られるように出来ています。生後10ヶ月の可愛いゴリラの赤ん坊や珍しいインドライオンの赤ん坊と記念撮影し5時半。博士に送られて門を出る直前、一台のバスが眼に留りました。横腹にトラヴェリングズーと書かれています。窓が大きく中が丸見え。小さな



動く動物園、トラヴェリングズー号

ケージがいくつも積まれています。このケージに鳥や哺乳類などを満載し、近くの老人ホームや養護学校など、動物園へ来たくても来られない人達の居る所を廻るそうで、毎日大忙しだそうです。市民の要求をよく考え、応えています。この市民との密接な連絡は創立以来100余年という歴史が作ったものなのでしょう。



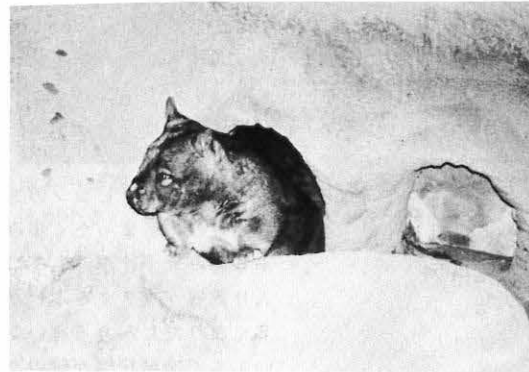
珍しい立体型説明板(ブルックフィールド)

§ ブルックフィールド動物園へ

翌18日はシカゴにあるもうひとつの動物園、ブル

ックフィールド動物園へ。ここはシカゴ動物学協会の経営で、1934年に設立されました。広さはリンカーンパークの約5倍、73haもあります。しかし年間入園者は半分の200万人。動物の数も殆んど変わらないのにどうしてでしょう。

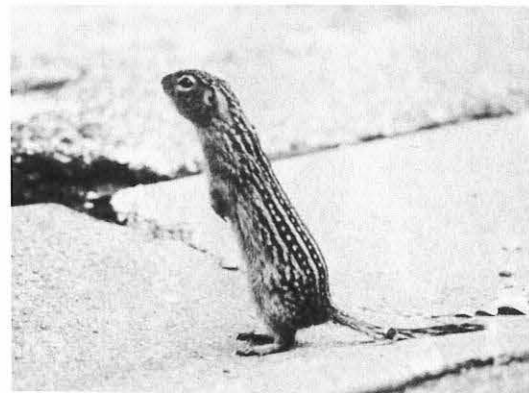
ブルックフィールドは珍獣ケバナオムバットの繁殖に成功したことで有名です。チャーリーと名付



珍獣ケバナオムバット(ブルックフィールド)

けられたこのケバナオムバットをモデルにして作られた募金箱が入場門を入ったところに置かれていました。日本の動物園ではどこでもWWFのシンボルマーク、ジャイアントパンダの募金箱が置かれ募金を呼びかけていますが、アメリカの動物園では各園が独自の動物をシンボルに選んで募金活動をしています。

まず鳥類舎へ、日本を出る時調べた資料に、ここには天王寺と同じマンテリキウイが飼われている、と出ていたからです。暗くしてあるキウイ舎の前に立ちました。暗闇に眼が慣れて来るに従い、鳥の眼



園内のいたる所に住みついていたジュウサンセンジリス(ブルックフィールド)

には感じない赤色光線ランプで照明された薄赤い独特の世界が眼の前に開けて来ました。林床を模したキウイ舎には太い幹が何本も植えられ、落葉が厚く敷き詰められています。その中で……、イタイタ!! 天王寺のニュージー君よりも少し小振りな感じのするキウイが特徴的な体には不釣り合いな程の大きな足でしっかり落葉を踏みしめて、エサを探すように歩き廻っています。一瞬天王寺に戻ったような錯覚を起しました。キウイ君の散歩の邪魔しないよう写真は中止。そのかわりじっくりと観察させてもらいました。

その後、ケバナオムバットのチャーリーには会えたものの、日本を出る時から期待していたハシビロコウとコミミイヌは両方とも出園していませんし、高さ24m、広さ142m×33mという巨大な熱帯館も予算不足とかで工事が中断、再開の見込みもちょっと無いとのことでした。それに多くの動物が飼われている割にはネームプレートの不備が目立ち、名無しのゴンベエが沢山いるのには驚きました。前日に



奇妙な頭をしたシュモクドリ(ブルックフィールド)

リンカーンパークの充実振りを眼の当りにしているだけに少しここでは失望しました。しかし時間が無くて私は見られなかったのですが、小型ネコ科動物の生態展示の見事さは日本でも評判です。この技術を生かした熱帯館の一日も早い完成を期待しつつ、小雨の振り始めたブルックフィールドをあとにしました。

(長瀬 健二郎: 飼育課 獣医師)

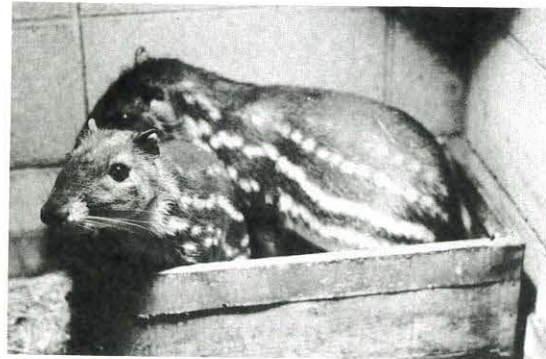
キーパーズ・アイ Keepers' Eye ⑬

§ 寒さがとりもつ仲

今まで当園で飼育していた、パカの雌とハクビシンの雄は、それぞれつれ合いに死なれ一頭暮しの身のうえだったので、新しいカップルを作るために、昨年、パカの雄とハクビシンの雌を入園させました。

新しく入園したハクビシンとパカは動物病院で健康状態を見るため数日間の検疫をへた後、小獣舎のハクビシンとパカの飼育場でそれぞれの相手を小さなケージに入れて様子を見るために数日間お見合いをさせました。長く一頭暮しのさみしさから新しいつれ合いを喜んで受け入れてくれると思っていたのですが、その結果は私たちの期待を完全に裏切るものでした。ハクビシンの雌

は雄を見て恐怖のあまりかただただ歯をむいて、雄をそばに近づけない様になっているし、又、パカの方は新しく入園した雄が背中に大ケガをさせられる始末でした。パカといえば、南米に生息している齧歯目の仲間、おとなしい動物だと思っていたのに、こんな大ゲンカをするとは予想もできませんでした。結局、ハクビシンは、寝室と運動場で別居させて、しばらく様子を見る事にし、ケガをしたパカの雄は動物病院で治療を受けた後、入院患者として動物病院で飼育



する事になりました。動物園に新しく入園した動物と、前から飼育している動物を同居、あるいは雑居させる場合、それぞれの動物に応じて様々な方法が用いられるのですが、基本的にはおたがいのニオイや姿に馴らすために見合いという方法が行なわれています。その後、いっしょにさせる時点において、肉食獣ならば同居させる前に、両方とも餌を与えて満腹の状態にしていっしょにさせるとか、又、小型の肉食獣や草食獣などでは、同居させる時に餌を与えていっしょに食事をさせたりする方法をとったりします。今回の場合、結局長期戦で様子を見る事になりました。

しかし、ハクビシンの方もパカの方もまったく歩みよりをみせず、季節も冬に入り寒風が吹きすさぶ日が多くなりだしたある寒い朝、いままで冷戦状態が続いたパカとハクビシンの両方共、なんと!!寝室の中でいっしょに仲良く寄りそっているではありませんか。

この寒さがとりもつ仲が、これから暖い季節になっても続く様にと願うばかりです。

(飼育課：農本 武志)

§ 動物は音楽が“お好き？”

人が歌を唄うと動物がいっしょになって唄い出す？ こんなユーモラスな心温まる話が、飼育係間の話題となっている。キーウィを担当している磯田さんが、夕方、キーウィに餌を与えた後キーウィを観察する時に歌を口づさんでいると、キーウィもいっしょになって鳴きだしたというのです。磯田さんの話によると、以前に「瀬戸の花嫁」や「私の城下町」などを唄っていた時にはこんな事はなかったそうで、歌を「やしの実」に替えてからキーウィがいっしょになって鳴きだす様になったとの事です。

どうやらキーウィのニュージー君はスローテンポの曲が好きで磯田さんは目を細めて話していました。キーウィのニュージー君の様に担当者の歌に合わせて鳴き出すという事は大変珍しい事です、他にも音楽好きの動物達があります。朝の開園の時に、園内に放送される音楽に合わせて、中獣舎のコヨーテやジャッカル達がいっせいに鳴きだし、園内に流

れる音楽に負けじと大声で歌？っているのがよく聞かれる事があります。又、飼育係の中には動物舎を



そうじする時などに、鼻唄まじりやプロの歌手もまっ青という程の歌唱力で唄う歌好きの人が多く、それぞれの担当動物も担当者によって、演歌好きになったり？ニューミュージックが好きになったり？とにかく動物達もとても音楽好きが多い様です。

(文責 編集部：農本)

動物園ニュース

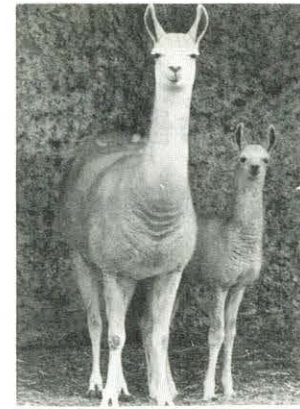
§ 新着動物

1月22日、アカオザル4頭が入園しました。このサルはアフリカ中央部の深い森林に住むサルで、濃い栗色をした尾と純白の毛が生えた鼻が印象的です。



現在一時収容舎で検疫中ですが、4頭共まだ子供で体が小さいので展示は春になって暖くなるまであわずです。

2月5日と8日にはキングペンギンが3羽入園しました。過去には繁殖にも成功していたキングペンギンですが、3年前に1羽が死にとうとう1羽だけになっていたものです。これで4羽になり、大柄なキングペンギンだけに、ペンギンプール全体が大変



スの赤ん坊が産まれました。お母さんのホワイティーにそっくりの全身純白のとても可愛い元氣な赤ん坊です。これでラマー家は総勢5頭の大所帯になりました。

2月9日にはヤギの仔が生まれました。2頭のお母さんが1頭と3頭を産みましたので1日で4頭の

赤ん坊が誕生し、16日には別のお母さんが双子を産み赤ん坊は計6頭になりました。みんな厳しい寒さにも拘らず元気に運動場をはね廻っています。

2月10日にはキョンにメスの赤ちゃんが誕生しました。キョンは台湾や中国本土に住むシカの仲間ですが、肩までの高さが40cmとシカの中でも最も小さいもののひとつです。今まで生まれたどの赤ん坊も岩陰や小屋の後ろにかくれてその姿を仲々見せてくれなかったのですが、今回の赤ん坊は両親やお兄さん



くらしを彩るショッピング



近鉄百貨店

アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

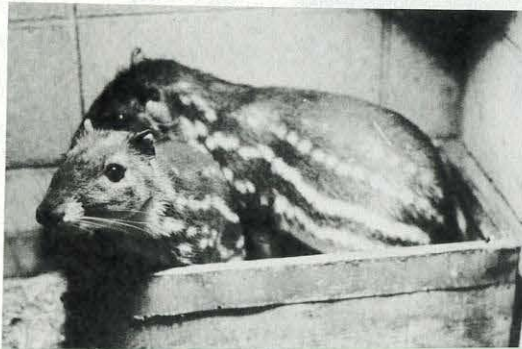
キーパーズ・アイ Keepers' Eye ⑬

§ 寒さがとりもつ仲

今まで当園で飼育していた、パカの雌とハクビシンの雄は、それぞれつれ合いに死なれ一頭暮らしの身の上だったので、新しいカップルを作るために、昨年、パカの雄とハクビシンの雌を入園させました。

新しく入園したハクビシンとパカは動物病院で健康状態を見るため数日間の検疫をへた後、小獣舎のハクビシンとパカの飼育場でそれぞれの相手を小さなケージに入れて様子を見るために数日間お見合いをさせました。長く一頭暮らしのさみしさから新しいつれ合いを喜んで受け入れてくれると思っていたのですが、その結果は私たちの期待を完全に裏切るものでした。

ハクビシンの雌は雄を見て恐怖のあまりかただだ歯をむいて、雄をそばに近づけない様になっているし、又、パカの方は新しく入園した雄が背中が大ケガをさせられる始末でした。パカといえば、南米に生息している齧歯目の仲間、おとなしい動物だと思っていたのに、こんなケガ



する事になりました。動物園に新しく入園した動物と、前から飼育している動物を同居、あるいは雑居させる場合、それぞれの動物に応じて様々な方法が用いられるのですが、基本的にはおたがいのニオイや姿に馴らすために見合いという方法が行なわれています。その後、いっしょにさせる時点において、肉食獣ならば同居させる前に、両方とも餌を与えて満腹の状態にしていっしょにさせるとか、又、小型の肉食獣や草食獣などでは、同居させる時に餌を与えていっしょに食事をさせたりする方法をとったりします。今回の場合、結局長期戦で様子を見る事になりました。

しかし、ハクビシンの方もパカの方もまったく歩みよりをみせず、季節も冬に入り寒風が吹きすさぶ日が多くなりだしたある寒い朝、いまままで冷戦状態が続いたパカとハクビシンの両方共、なんと!! 寝室の中でいっしょに仲良く寄りそっている

動物園ニュース

§ 新着動物

1月22日、アカオザル4頭が入園しました。このサルはアフリカ中央部の深い森林に住むサルで、濃い栗色をした尾と純白の毛が生えた鼻が印象的です。



現在一時収容舎で検疫中ですが、4頭共まだ子供で体が小さいので展示は春になって暖くなるまでおあずけです。

2月5日と8日にはキングペンギンが3羽入園しました。過去には繁殖にも成功していたキングペンギンですが、3年前に1羽が死にとうとう1羽だけになっていたものです。これで4羽になり、大柄なキングペンギンだけに、ペンギンプール全体が大変



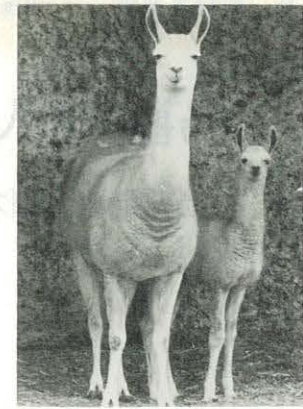
にぎやかになった感じです。

2月15日には3種4頭のヘビが入園しました。カリフォルニアキングヘビ1頭、キイロネズミヘビ1頭、ゴッファースネーク2頭です。これら3種のヘビはすべて北アメリカ産で、ネズミやカエルを食べるおとなしいヘビです。すでに爬虫類舎にて展示しております。御来園の際は是非御覧下さい。



§ 出産動物

1月31日、ラマのゴロー、ホワイティー夫妻にオ

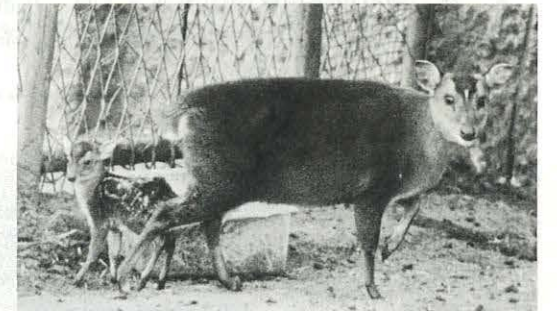


スの赤ん坊が産まれました。お母さんのホワイティーにそっくりの全身純白のとても可愛い元気な赤ん坊です。これでラマ一家は総勢5頭の大所帯になりました。

2月9日にはヤギの仔が生まれました。2頭のお母さんが1頭と3頭を産みましたので1日で4頭の

赤ん坊が誕生し、16日には別のお母さんが双子を産み赤ん坊は計6頭になりました。みんな厳しい寒さにも拘らず元気に運動場をはね廻っています。

2月10日にはキョンにメスの赤ちゃんが誕生しました。キョンは台湾や中国本土に住むシカの仲間ですが、肩までの高さが40cmとシカの中でも最も小さいもののひとつです。今まで生まれたどの赤ん坊も岩陰や小屋の後ろにかくれてその姿を仲々見せてくれなかったのですが、今回の赤ん坊は両親やお兄さん



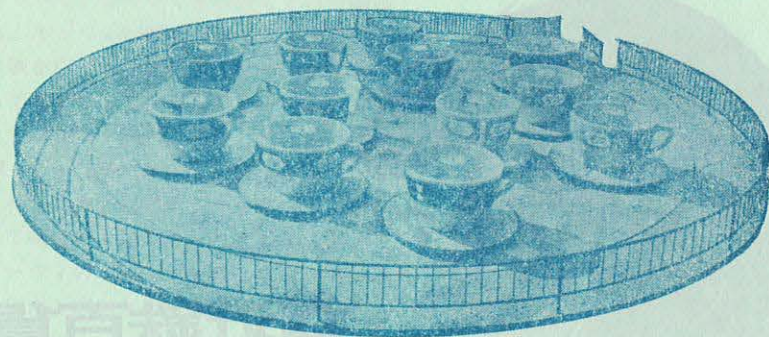
達とよく一緒に散歩しています。まだ仔猫位の大きさですが、鹿の子模様に包まれた可愛い姿を是非御覧下さい。キョン舎はラクダ舎の並びで、ハイイロカンガルー舎の隣です。

※ 休園日のお知らせ ※

毎月第3月曜日は休園日です。6月までの休園日は下記の通りです。

3月17日(月)、4月21日(月)、5月19日(月)、
開園時間は9時30分から5時までで、4時に切符売止めになります。

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娛樂 株式会社

本社 工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なきごえ 昭和55年3月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

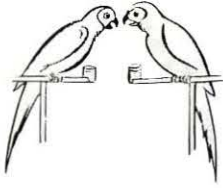
第16巻第3号(通巻175号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

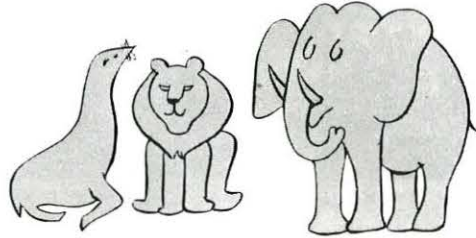
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

板野 健一・前木 妙子・大野 尊信・榊原 安昭・樽本 勲・土井 良彦・高橋 真三・農本 武志
石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・霞谷 文彦・仲谷 登